

第2回会合における主な意見について

令和3年5月

農林水産省

コロナ禍におけるサプライチェーンへの影響(国内事例①)

○小麦粉製品の事例

2020年2月以降、コロナ禍による学校の休校や外出自粛、インバウンドの減少等の影響が顕在化



パスタ等の小麦粉製品の家庭用需要が増加



原料の供給に不足はなかったものの、業務用などから家庭用需要へのシフトに製品の製造・供給が追いつかず、令和2年4月末～5月上旬にかけて、スーパー等の店頭で一部商品が品薄・欠品

一部消費者の間で、買い占めや転売等も発生



農林水産省は、消費者向けに落ち着いた購買行動を呼びかけるとともに、製粉業界・プレミックス業界メーカーに安定供給を要請し、HPで供給情報を発信



5月中旬以降、品薄感は徐々に解消

○牛乳乳製品の事例

2020年2月以降、コロナ禍による学校の休校や外出自粛、インバウンドの減少等の影響が顕在化



- ・給食用や業務用の牛乳乳製品の需要の減少
- ・業務用などから家庭用需要へのシフトに製品の製造・供給が追いつかず、令和2年4月末～5月上旬にかけて、スーパー等の店頭で一部商品が品薄・欠品



長期保存できるバターや脱脂粉乳へ加工する生乳の量が増加



バターや脱脂粉乳の在庫が増加



農林水産省は、牛乳乳製品の消費拡大を呼びかけ(プラスワンプロジェクト)



家庭での牛乳類の消費が増加し、行き場のない生乳を発生させることなく、生乳生産の多くなる5月から6月までの期間を乗り切った

コロナ禍におけるサプライチェーンへの影響(国内事例②)

生産

- ・感染症の拡大を受け、和牛肉、魚介類や花きを中心に卸売価格等に影響
- ・2020年7月の調査※で、農業者の半数が売上高にマイナスの影響があると回答（2021年1月の調査では6割強に上昇）。理由は単価・相場の下落、既往販路の縮小や直営所などの休業等
※株式会社日本政策金融公庫「農業景況調査」
- ・外国人の入国制限により、2020年4月から来日を予定していた外国人材の入国者数が大幅に減少。人手不足による農業分野への影響が懸念されたが、他産業からの代替人材の確保等により対応

製造・加工

- ・中国産玉ねぎ、インド産脱脂加工大豆等の加工・業務用の原料農産物について、輸出国における生産や物流、輸出等に遅延が発生
- ・給食用や業務用の牛乳乳製品の需要減少に伴い、長期保存できるバターや脱脂粉乳への加工が増加

流通

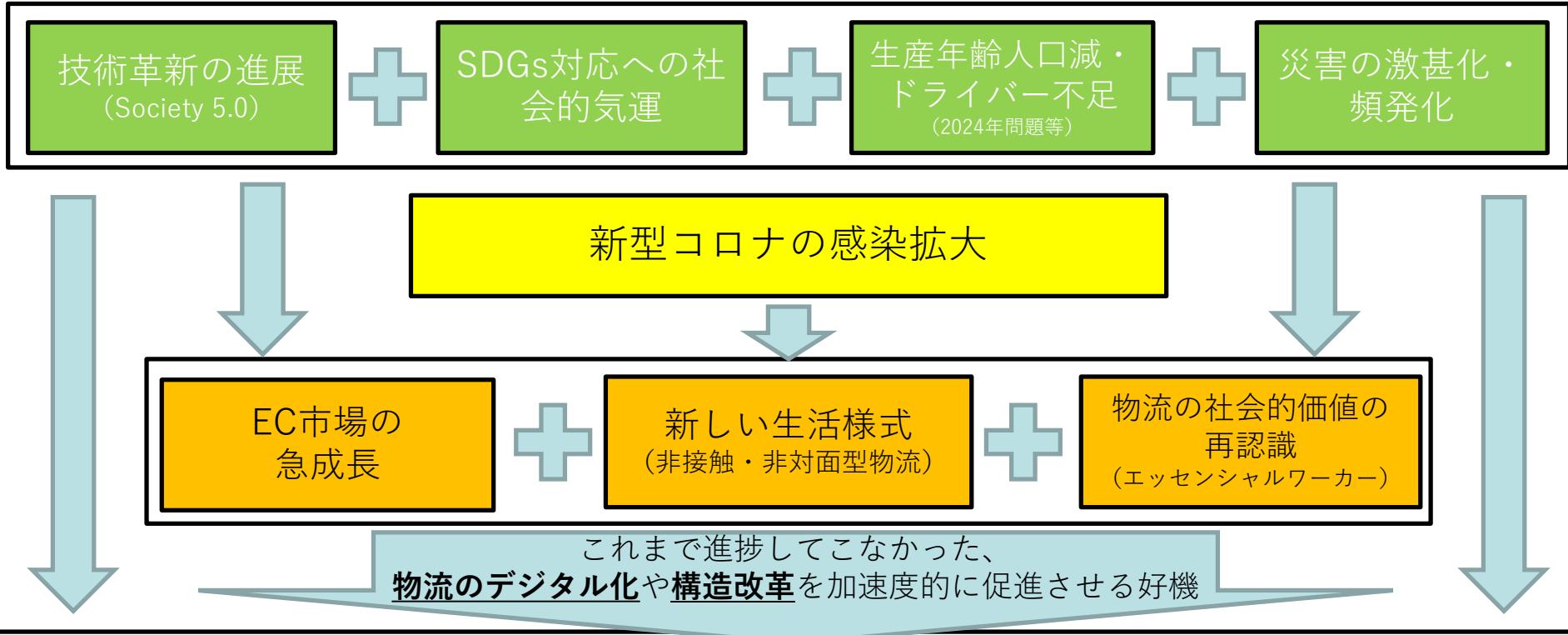
- ・外食用や学校給食用の需要の減少により、農畜産物の商流が滞り、空き保管倉庫が不足
- ・農林水産物・食品の輸出額は、2020年6月まで減少傾向。7月以降は対前年同月比で増加

消費

- ・2020年2月以降、学校の休校や外出自粛、インバウンド需要の減少等により、外食事業者を始め、関連産業に大きな影響が発生
- ・家庭内消費の増加に伴い、米、パスタ、小麦粉、バター、冷凍調理食品等の加工品や生鮮肉等の生鮮品への支出額が増加
- ・一時的にスーパーで欠品又は品薄になった商品もあったものの、食品製造事業者の生産継続や、流通事業者の休日配達等により、食料は安定的に供給

我が国が直面する課題と今後の物流施策

出典：次期総合物流施策大綱の概要
2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会提言
(2020年12月23日公表) 参考資料1



新型コロナ流行による社会の劇的な変化もあいまって、我が国の物流が直面する課題は先鋭化・鮮明化

①物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の徹底した最適化
(簡素で滑らかな物流)

②労働力不足対策と物流構造改革の推進
(担い手にやさしい物流)

③強靭で持続可能な物流ネットワークの構築
(強くてしなやかな物流)

物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の徹底した最適化(簡素で滑らかな物流)

背景・課題と目指すべき方向性

- ◆ 労働力不足の深刻化
- ◆ 新しい生活様式に対応した、非接触・非対面型物流への転換の必要性
- ➡ 物流の機械化・デジタル化を通じた、既存のオペレーション改善や働き方の改革の実現により、経験やスキルの有無だけには頼らない、ムリ・ムラ・ムダがなく円滑に流れる「簡素で滑らかな物流」の実現が必要

今後取り組むべき施策

(1) 物流デジタル化の強力な推進

手続書面の電子化の徹底、データ基盤の整備、特殊車両通行手続の迅速化、非対面点呼の促進 等

(2) 労働力不足や非接触・非対面型の物流に資する自動化・機械化の取組の推進

物流施設へのロボット等の導入支援、隊列走行・自動運転の実現に向けた取組の推進 等

(3) 物流標準化の取組の加速

加工食品分野における標準化推進体制の整備と周辺分野への展開、業種ごとの物流の標準化の推進 等

(4) 物流・商流データ基盤等

物流・商流データ基盤の構築と社会実装の推進、港湾関連データ基盤の整備、物流MaaSの推進 等

(5) 高度物流人材の育成・確保

物流DXを推進する人材に求められるスキルの明確化・発信、学習機会の提供 等

労働力不足対策と物流構造改革の推進(担い手にやさしい物流)

背景・課題と目指すべき方向性

- ◆ 生産年齢人口の減少
 - ◆ トラックドライバーの時間外労働の上限規制 (2024年度～)
 - ➡ 担い手がゆとりを持って働く魅力的な産業に変貌し、「担い手にやさしい物流」を実現することが必要
- 現状のままでは、
現状の物流サービスが提供できなくなるおそれ

今後取り組むべき施策

(1) トラックドライバーの時間外労働の上限規制を遵守するために必要な労働環境の整備

商慣習の見直し、標準的な運賃の浸透、「ホワイト物流」推進運動の推進、ダブル連結トラック等の活用支援 等

(2) 内航海運の安定的輸送の確保に向けた取組の推進

船員の確保・育成、働き方改革の推進、荷主等との取引環境の改善 等

(3) 労働生産性の改善に向けた革新的な取組の推進

共同輸配送のさらなる展開、倉庫シェアリングの推進、再配達の削減、ラストワンマイル配送円滑化の推進 等

(4) 農林水産物・食品等の流通合理化

ストックポイント等の流通拠点の整備、卸売市場等における自動化・省人化、標準化やパレット化の促進 等

(5) 過疎地域におけるラストワンマイル配送の持続可能性の確保

貨客混載や共同配送の推進、ドローン物流の社会実装化 等

(6) 新たな労働力の確保に向けた対策

女性、高齢者、外国人等の多様な人材が活躍できる職場環境の整備、オペレーションの定型化・標準化 等

(7) 物流に関する広報の強化

物流危機の現状や持続可能な物流の確保の重要性に関する社会の共通認識を高めるための広報活動の強化

強靭で持続可能な物流ネットワークの構築(強くてしなやかな物流)

背景・課題と目指すべき方向性

- ◆ 大規模災害や感染症の流行等によるサプライチェーンの途絶
 - ◆ 国際経済の不確実性やグリーン社会、カーボンニュートラル、SDGsといったアジェンダへの対応の必要性
- ⇒ **国際情勢の大きな変化や有事にあっても機能を維持できる、強靭性・弾力性を確保した「強くてしなやかな物流」の構築**が必要

今後取り組むべき施策

(1) 感染症や大規模災害等有事においても機能する、強靭で持続可能な物流ネットワークの構築

災害発生時の基幹的海上交通ネットワーク機能の維持、「ヒトを支援するAIターミナル」の各種取組の推進、自動運転・隊列走行を見据えた道路整備 等

(2) 我が国産業の国際競争力や持続可能な成長に資する物流ネットワークの構築

重要物流道路の拡充等トラックの大型化に対応した道路機能強化、国際コンテナ戦略港湾政策の推進、農林水産物・食品の輸出拡大 等

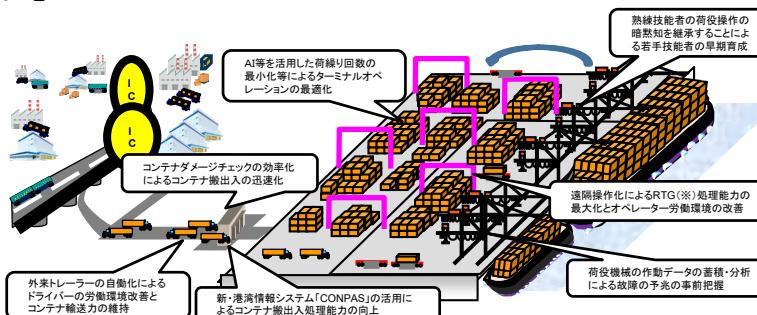
(3) 地球環境の持続可能性を確保するための物流ネットワークの構築(カーボンニュートラルの実現等)

モーダルシフトのさらなる推進、荷主連携による物流の効率化、各輸送モード等の低炭素化・脱炭素化の促進 等

[ネットワークを意識した耐震化のイメージ]



[ヒトを支援するAIターミナルのイメージ]



[重要物流道路ネットワークのイメージ]

